

# 需供案内

一人一回三十字詰三行迄無料。  
三行以上は一行につき郵券十錢を拂込むべし。

「みづゑ」六十一より七十二まで 貳圓五拾錢にフオスター鉛筆手本海  
景風景の二冊を五拾錢に譲る其他太平洋畫會カタログ等數冊あり(岩  
代二本松字若宮一ノ二九、菅野三郎)

小生不用の書女性と趣味元價二圓を壹圓三十錢水彩畫譜同壹圓廿錢を  
九十錢鉛筆畫法同六十錢を五十錢水彩畫指南同を五十錢に全部無垢の  
物至急譲りたし(大阪東區南農人町二丁目大隅直造)

水繪六二より七五まで 臨時號紀念號共十四冊を 送料共金參圓漫畫紀  
行小杉氏鉛筆畫法中村氏色彩新論田口氏 水彩手引三宅氏 各五十錢に  
て譲る御照會あれ何れも新し福岡縣久留米京町一丁目五二梯方本村  
洋畫講義錄全部合本二冊クロス 綴美本送料共金貳圓貳拾錢に譲り  
渡したし(大阪市西區阿波座中二ノ一四三、村上覺太郎)

みづゑ一、二、三、四、五、九、十、十二、十三、十四、十五、美術  
新報十卷一、四、六號右賣拂仕候(静岡縣安倍郡大谷村、島崎 清)  
みづゑ、第壹號より第三十七號外第六拾七號より第七拾參號まで  
全部四拾五冊破損無く挿畫完全なる物相當代價にて至急譲りたし(宮  
城縣登米郡登米町、海老名研二)

『みづゑ』六十、六十一、中繪完全にして無垢のもの譲り受けたし又  
其内一冊にてもよし(鳥根縣濱田町 田町市川方、竹内徹太郎)  
小生所持の日本畫講義錄不用に付譲る(吳市古川町十四番地 次五十  
一番戸、今井哲三)

六月  
革新號

## 婦女界

一新 面目

### 重要記事

(後付の四)

- ▲自覺せる若き女 内田魯庵
- ▲西洋の家庭は家 姉崎正治
- ▲閨秀小説『妹』 國木田治子
- ▲最も恐るべき子 高島平三郎
- ▲娘に對する親の 十二名家  
希望 の新説
- ▲不健全なる孝道 向軍治  
を排す
- ▲如何なる音樂が 田邊尙雄  
家庭に適するか
- ▲苦闘二十年に亘 矢島楫子  
る婦人問題
- ▲公共事業に活動 河井道子  
する西洋の娘
- ▲懸賞募集其他

## 同文館

定價一册十五錢六册九十錢十二册一圓七十五錢  
東京神田區表神保町振替口座東京一三五